

# 一 般 質 問 通 告 事 項

(令和4年第2回白岡市議会定例会)

## 第1通告者

17番 石原富子 議員

### 1 子宮頸がん予防ワクチンの再開について

子宮頸がん予防ワクチンの定期接種が9年ぶりに再開された。その経緯と、市としての考え方を伺う。

(1) 2013年4月から定期接種の位置付けのまま積極的勧奨が差し控えられたが、今年4月から再開された。

ア 勧奨が差し控えられた理由は何か。

イ 再開されたのは、ワクチンの成分が変化したからなのか。

ウ 副反応に対する治療法が確立したからなのか。

(2) 市としての対応はどのようにするのか。

ア 対象者は何人か。

イ 勧奨するかどうか、専門家による検討会議を開いたか。

ウ 実施する判断基準は何か。

エ 市としてこれまでの実績と副反応の報告は。

オ もし重篤な副反応が出た場合の対応は。

## 第2通告者

1番 石渡征浩 議員

### 1 市民ニーズから考える地域公共交通について

(1) 地域公共交通について、その重要性の高まりと市民の切実な声をどう受け止めているか。

(2) 第6次総合振興計画の重点取組項目の1つである「交通ネットワークの充実」が目指す市民へのサービス水準はどのレベルを想定しているか。いつまでに、どう実現するのか。

(3) 地域公共交通に対する投資が不十分ではないか。

(4) 市民ニーズを満たすことと民業を圧迫しないことのバランスをどう取ろうとしているのか。

### 2 地域公共交通に関する過去の答弁について

- (1) 「まずは、現行ののりあい交通の充実を図り、その後も地域公共交通に対する市民ニーズが高い場合には、地域公共交通の在り方を検討する」という主旨の答弁の繰り返しは、どういう考え方に基づいているのか。新たな地域公共交通の検討を今すぐ始めない理由は何か。
  - (2) 現行ののりあい交通を充実させることで実現できる最終的な絵姿をどう描いているのか。
  - (3) 新たな地域公共交通の検討の必要性は、何に基づいて判断するのか。
- 3 地域公共交通活性化再生法の改正に伴う対応について
- (1) 地域公共交通計画の作成をどう捉えているか。何を目的とするか。
  - (2) アンケート調査を除いた計画そのものの作成主体は、執行部かそれともコンサルティング会社への業務委託か。
  - (3) 地域公共交通計画の作成は、第6次総合振興計画の重点取組項目の1つである「交通ネットワークの充実」の中に取り込み、その一環として進めるべきではないか。
  - (4) 地域公共交通計画作成の手順とスケジュールをどう考えているか。

### 第3 通告者

9 番 菱 沼 あゆ美 議員

- 1 福祉的なトイレ設備等について
  - (1) 各公共施設トイレにおける、おむつ替えシートの設置状況はどうなっているか。男性用・女性用・多目的用別に現状を伺う。利用しやすい工夫が必要ではないか。また、男性が授乳を行う際の配慮はどうしているか。
  - (2) 疾病や加齢などの理由から、男性用個室トイレにサンタリーボックスの設置を必要とする方がいる。設置してはいかがか。
- 2 子どものアレルギー対応について
  - (1) 子どもの食物アレルギー疾患の現状は。保育所、小中学校別に伺う。(保育所：全体数と当事者数・割合。小学校：低学年、高学年別。中学校：全体数と当事者数・割合。)

- (2) 入所前や就学前に提出する「生活管理指導表」がある。
- ア この提出の手順や流れはどうしているか。
  - イ 医師の診断欄については、必須なのか。
  - ウ 医師の診断書の文書代がこの4月から保険適用の対象となった。子ども医療費として無料となるが、必須にしてはいかがか。
- (3) アレルギー負荷検査の保険適用範囲は、年齢が9歳未満から16歳未満になり、回数は年2回から3回に拡大された。複数のアレルギーを持つ場合にも対応できる。これについての周知が必要ではないか。

### 3 女性デジタル人材育成と就労について

コロナは女性の就業面に大きく影響している。情報通信業における雇用はコロナ禍にあっても増加している。デジタルスキルを習得し、多様な働き方や所得向上を可能にするための「女性デジタル人材育成プラン」が策定された。大いに推進すべきと考える。市の取組状況を伺う。

## 第4通告者

15番 遠藤 誠 議員

### 1 遊休農地の再生について

- (1) 市からの依頼により適正な管理に着手した農地の状況は。
- (2) まだ取り掛からない区域を含めて、これからの方針と方向は。

### 2 女性の地位の向上について

- (1) 現行の言葉や啓発で世界標準に追いつくのか。
- (2) 良妻賢母を本当に否定できるのか。
- (3) 「日経WOMAN」などを参考にしらおか男女共同参画推進会議などで議論してはどうか。

### 3 第6次白岡市総合振興計画のまちの将来像について

- (1) 具体策として駅前の空間を緑化したらどうか。
- (2) 同じく並木道を整備したらどうか。
- (3) 市民には「我が家のシンボルツリー」を奨励したらどうか。

- (4) 農業思想の普及、地元野菜を市民に届けるシステム、柴山沼や調整池など水を生かしたらどうか。

## 第5 通告者

2 番 中 村 匡 志 議員

### 1 副市長の就任にあたって

- (1) 市政全般に対する考え（抱負・目標・方針等）を伺う。
- (2) 県との連携に関する考え（抱負・目標・方針等）を伺う。
- (3) ご本人の基本的な価値観やものの考え方について伺う。

### 2 県の道路行政との連携について

- (1) 県道蓮田杉戸線について副市長に伺う。

ア 鹿室交差点から太田新井交差点にかけての区間が断絶しているのはなぜか。

イ 今年4月24日に蓮田スマートインターチェンジ上り線が川島に移転したことに伴い、同線の重要性は飛躍的に高まった。これを機に断絶を解消してはいかがか。

- (2) 県道春日部菖蒲線について副市長に伺う。

ア 白岡菖蒲インターチェンジへの主たるアクセスを担うべき路線であるが、現在のところその役割は十分に果たせていない。樋ノ口における断絶はいつ解消されるのか。また、解消後の旧道との合流はどうなるのか。

イ 篠津神山東交差点での屈折を解消してはいかがか。

ウ 新寺塚橋附近での渋滞が常態化している。この附近だけでも複線化してはいかがか。

エ 将来的には白岡菖蒲インターチェンジに直接連結すべきではないか。

- (3) 県道さいたま幸手線の歩道の利用について副市長に伺う。

### 3 県公安委員会との連携について

- (1) 実ヶ谷久伊豆神社前交差点の交通信号機の設置について副市長に伺う。

- (2) 市道128号線（蓮田松韻高等学校敷地から東に約100メートル

ルの地点)における横断歩道の設置について副市長に伺う。

- (3) 市が交通信号機及び横断歩道の設置について市民の要望に柔軟に対応できるよう、近隣市町と広域連合を組織して一部権限の移譲を受けてはいかがか(地方自治法第291条の2第2項)。副市長に伺う。

#### 4 梨栽培農機具導入支援事業について

- (1) 過去10年間の利用実績(件数・金額・内容)は。  
(2) 梨農家の減少する中、対象農機具を拡大してはいかがか。

#### 5 いわゆる「農地法上の許可を条件とする売買」について

- (1) 当分の間許可が得られる見込みがないにもかかわらず、このような売買を行うことにつき、市は事前相談でどのように回答しているか。  
(2) この場合、たとい買主が仮登記を行っても無権利者であることに変わりはないという理解で間違いはないか。  
(3) 都市計画法第34条第12号に基づく「白岡市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」第5条第1項第2号イの「居住」は、住民票を有し且つ居住実態があるものに限られるという理解で間違いはないか。  
(4) 合法事例と違法事例のメルクマール(分水嶺)を伺う。どの程度の期間内に許可を得られる見込みがなければ違法になるのか。  
(5) 違法事例に対して市の講じうる是正手段について伺う。  
ア 農地法に基づくもの  
イ 土地収用法に基づくもの  
ウ その他の法令に基づくもの  
(6) 違法事例に関する司法機関等との連携(刑事訴追・仮登記抹消等)について伺う。

#### 6 市民農園の改善について

- (1) ふるさと農園の根拠法令、権利関係、設備及び利用状況について伺う。  
(2) 駐車場を設置してはいかがか。

- (3) 総合運動公園と一体的な広報をしてはいかがか。また、広報の方法を多様化してはいかがか。
- (4) 新たに市民農園を設置するために、適地の地権者の希望を募ってはいかがか。

## 第6 通告者

6 番 関 口 昌 男 議員

- 1 自治体におけるジェンダー平等の取組の一步としてパートナーシップ制度導入をすすめては
  - (1) 第5次白岡市男女共同参画プランについて。
  - (2) 認識のギャップに注意を払うべきでは。
  - (3) ジェンダー平等の取組の中でパートナーシップ制度導入の基本的考えは。
  - (4) 全国での導入の実態はどのようになっているのか。
  - (5) パートナーシップ制度で可能な法的保障制度はどのような内容か。
  - (6) 相互利用制度などの導入はどのように検討されているのか。
  - (7) 久喜市やさいたま市の内容を参考にしてはどうか。
  - (8) 市長の考えを伺う。
- 2 難聴者のための補聴器助成制度の実施について
  - (1) 国の補聴器関連研究報告の状況は。
  - (2) 市の障害者と認定された人の支給状況は。
  - (3) 都道府県や市町村の助成制度の動向について。
  - (4) 市民のこの制度に関する反応をどのように受け止めるか。
  - (5) 健康診断でも聴力検査などを取入れてはいかがか。
  - (6) この実施にあたっての要望事項について。
  - (7) 市長の考えを伺う。
- 3 小学生への学習・生活支援活動の実現を
  - (1) 白岡市の「生活困窮者自立支援事業」について。
  - (2) 学習支援事業の成果は。
  - (3) 小学生からの学習・生活支援活動を実施してはどうか。

1 学校教育について

(1) いじめの対応について

ア いじめの件数は。

イ いじめ事案が発覚した時の対応は。

(2) 不登校の対応について

ア 不登校児童生徒の数は。

イ 年間30日に満たないが、欠席の多い児童生徒の数は、

ウ 不登校の原因は。

エ 具体的な支援方法は。

(3) いじめや不登校など学校で起きている問題について教育委員会はどうのように関わっているのか。

ア 教育長は、校長にどのような指導、助言をしているのか。

イ 保護者から教員に対する相談は、どのようなものがあるのか。

ウ 当該教員に対し教育委員会としてどのような指導をしているのか。

エ 昨年度、教員が関係する警察が関与した事案はあったか。

(4) 保護者から要望のある第三者委員会設置は。

(5) 教育委員会の役割とは何か。

(6) 教育長の役割とは何か。

(7) 学校教育は、何のためにあるのか。

(8) これまでの質問を踏まえて、市長の感想を伺う。

1 側溝蓋架け事業について

(1) 側溝蓋架け事業で直近5年間の予算・実施件数・未着手件数の年度ごとの推移を伺う。

(2) 未着手件数のうち古い順に5件、何年前の要望か、場所はどこかを伺う。

(3) 着手の順番については、どのような基準を設定しているか伺う。

- (4) 側溝蓋架け事業予算の抜本的な見直しが必要と考えるがいかがか。
- 2 中央公民館駐車場について
  - (1) 利用中止となった旧庁舎跡地の中央公民館駐車場について弾力的運用はできないか。
  - (2) 第二駐車場の看板表示や見えにくい車線等の再整備について、検討・実施の予定はあるか。
- 3 学校給食の無償化について
  - (1) 市内義務教育学校で児童・生徒が1年間学校に納める費用はいくらか（学年ごと1人当たりでは）。
  - (2) 児童・生徒が学校に収める年間総費用のうち給食費はいくらになるか。
  - (3) 子育て支援として学校給食費を一部補助してはいかがか。
  - (4) 学校給食の無償化に向け国や県に働き掛けを。

## 第9 通告者

8 番 中 山 廣 子 議員

- 1 養育費不払い問題について
  - (1) 離婚に関する相談窓口と相談支援体制、相談件数などを伺う。相談内容に関しては多岐にわたると考えられるが、どのような内容が多いか伺う。
  - (2) 子どもの権利である養育費が、不払いになっている例が多いと聞いているが、市ではどのように状況を把握し、対応しているか伺う。
  - (3) 養育費不払いの原因はどのようなことと考えるか。その課題は何か伺う。
  - (4) 市独自の支援制度の導入を検討すべきと考えるがいかがか。
- 2 H S P ・ H S C の理解と周知について
  - (1) H S P（ハイリーセンシティブパーソン：生まれつき非常に感受性が強く、敏感な気質を持った人）について広く周知啓発していくことが必要と考えるがいかがか。
  - (2) H S C（ハイリーセンシティブチャイルド：H S Pの気質を持つ子ども）について、学校関係者に周知啓発し、理解を深めることが

必要と考えるがいかがか。

- 3 自動販売機リサイクルボックスの異物混入低減の取組について
  - (1) 全国的に自動販売機のリサイクルボックスへの異物(一般廃棄物)混入が問題となっている。この問題についてどのように認識しているか。また、本市の状況の把握はできているか伺う。
  - (2) 自動販売機のリサイクルボックス内に異物が混入した場合、この異物は一般廃棄物となり、その処理は市区町村が責務を有すると考えるがいかがか。
  - (3) 自動販売機のリサイクルボックスへの異物混入低減への取組の課題とどのような啓発ができるか伺う。

第10 通告者

11番 加藤 一生 議員

- 1 白岡駅・新白岡駅の現況と市の対応について伺う。
  - (1) 現在の白岡駅・新白岡駅の管理運営状況はどうなっているのか。
  - (2) (1)の状況に市はどのような対応を取っているのか。
  - (3) 市民に対し、どのように現況と対応方法を知らせていくのか。

第11 通告者

13番 細井 公 議員

- 1 商業の活性化について

民間の知恵と行動力により自由な発想でイベントを行うことが健全な発展への一助を示している。経営者が商店・飲食店を閉店させてしまうと行事の発案・実行の減速要因となり問題だと考えられる。官民協働のまちづくりのために積極的に支援すべきと考えるが市の支援策を伺いたい。

- 2 市内の空家問題について

住民の高齢化・世代交代による空家の問題が始まっている。次代の持主が適切な管理ができないと、火災のリスク要因になりかねず放置は望ましくない。

こうした空家の問題に市はどのように取り組んでいるか伺う。

第12通告者

12番 中川幸廣 議員

1 小学校の通信簿を廃止できないか。

- (1) 通信簿の意義をどの様に捉えているか。
- (2) 児童の学習に対する成果・評価として通信簿に頼らない方法はないのか。
- (3) 通信簿を廃止する考えはないか。

2 白岡中央総合病院の市内新築移転のその後について

- (1) 中央病院移転の推移はどのような進捗状況か。
- (2) 今般のロシアのウクライナ侵攻に伴う世界的な原材料費の高騰はいろいろな産業界に対して悪影響を及ぼしているが特に建築業界は大きな影響を被っている。中央病院の建築予定費も高騰し更に材料の入手さえも困難と思うが、市よりの更なる支援等を含め情報共有は行っているのか。
- (3) 開設予定の令和7年度の目標は大丈夫なのか。

第13通告者

7番 松本栄一 議員

1 中学校の体育授業における武道必修について

平成20年3月改定の中学校学習指導要領に、第1、第2学年の保健体育で武道が必修になることが明記され、平成24年から完全実施された。それまで、中学校の保健体育で、武道の領域は学年ごとの選択となっていたが、この改定により、男女共に全ての中学生が第1、第2学年において武道を学ぶことになった。第3学年は、引き続き選択となる。

- (1) 当市の各中学校での取組状況、及び用具類の整備状況は。また、各中学校では各武道の有資格者、経験者が担当しているのか。
- (2) 保健体育での武道必修は、どのような成果を求めているのか。
- (3) 保健体育の教員のみ（未経験者）での授業について、問題点や検討点はないか。また、外部指導者の必要性は検討したか。
- (4) 久喜市の11校の中学校では、柔道を5校、剣道を5校、柔道・相撲を1校で実施と聞き、そのうち、2校での授業に外部指導者を

アシスタントとして導入している。武道の実技は特殊であり、教員の負担軽減のためにも、導入を検討してはいかがか。

## 2 小中学校事務のデジタル化について

文部科学省は2020年10月、全国の教育委員会などに対し、学校と保護者間の連絡手段のデジタル化等を推進するよう求める通知を出した。昨年12月の取組状況の全国調査では、9月時点で実施しているのは、都道府県で約87%、指定都市は約80%だった一方、市区町村では約56%と差があった。

- (1) 当市の小中学校での学校と保護者間連絡のデジタル化の進捗状況は。
- (2) 小中学校での新1年生、新学年での学校への提出書類は何件か、また、進級時に、前年に提出したものと重複しているものがあるか。紙ベースのものとデジタル化されているものの区分けがあるか。
- (3) デジタル化について、保護者からの意見、要望があったか。また、あれば、どのような案件であったか。
- (4) 小中学校からの保護者向けお便りは、週又は月で、何件くらいあるのか。
- (5) 教員の働き方改革につながるアプリもいろいろあるようだが、研究して、導入を検討したらいかがか。

## 第14通告者

14番 大島

勉 議員

### 1 民生委員の課題について

- (1) 民生委員の実情把握について。
- (2) 人員確保についてどう考えるか。
- (3) 近隣の状況はどうか。
- (4) 今後について。

### 2 地域部活動推進事業について

- (1) 現状はどうなっているか。
- (2) 予算計上されているがどう考えるのか。

- (3) これからどう進めていくのか。
- 3 議会議決に対する市長の考え方を問う。
  - (1) 二元代表制についてどう考えているか。
  - (2) SNSでの発信についてどう考えるか。
- 4 ケアラー支援について
  - (1) 実態の把握について。
  - (2) 県でケアラー支援条例を制定しているが市の考えは。
  - (3) 今後の進め方は。
- 5 予算と行財政改革について
  - (1) 行財政改革の進め方について。
  - (2) 予算とのバランスと今後について。
- 6 消防団について
  - (1) 消防団員の処遇改善はどのような状況か。
  - (2) 消防団に関するアンケート結果はどうなっているか。

第15 通告者

16 番 黒 須 大 一 郎 議 員

- 1 保健センター分館は防災倉庫を有する指定緊急避難所だが、今後当該地域はどうなるのか。
  - (1) 当該地域の今後は、どうなるのか。
  - (2) 市全体での指定緊急避難所等の見直しと民間などとの有事等への連携を進める考えは。
- 2 第6次市総合振興計画の実施計画と行財政改革推進の方針及び具体的な取組について
  - (1) 同実施計画は市の今後3年間を示すものだが、そこには行財政改革推進35の取組のうち4つだけが重点項目になっている。特にア～エの4項目はどうなのか。
    - ア 公共施設の統合再編（それに向けた実施計画策定）
    - イ 水道事業の見直し
    - ウ シティセールスの展開による魅力発信の強化
    - エ 民間活力の推進。

- (2) 現状では、上記の項目等をどのように進めていくのか。
  - (3) 公共施設の統合再編は、学校教育・社会教育・保育を含む福祉系等の施設を、歳出削減だけでない市民が共感する先を見据えた、次世代型の複合化や集約化を考えていく必要があるが、いかがか。
  - (4) 組織の枠にとらわれずに進められる公共施設統合再編実施計画策定室（仮称）などを設置してあたるべき。
- 3 個別施設計画と改定後の公共施設等総合管理計画を問う。
- (1) 公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設計画は具体的な対応方針を示したものと理解していたが、新白岡駅東口自転車駐車場の廃止や保健センター分館の解体など違うことが起きている。どういうことか。なぜ、無秩序化するようになったのか。
  - (2) これから両計画ともに財政課が中心となり、計画の推進や見直しが行われるかと考える。どのように行われるのか。そして、その際に関連する都市計画マスタープラン、地域防災計画、子ども・子育て支援事業計画等も同時期に行うのか。
- 4 市制施行10周年の基調となる考え（キャッチフレーズ）は
- (1) 市制施行5周年のそれは、「F o r t h e n e x t 5 y e a r s ～夢に向かって走り続けるまち～」であった。10周年である今回は。  
\* 10周年記念事業の考え方を3つの視点で説いているが。
  - (2) 市長の市制施行10周年を表す言葉は。  
\* 10周年について大人と子供の境目、1/2成人式とも説いているが。

## 第16 通告者

4 番 齋 藤 信 治 議員

### 1 病児保育を進めるために

子どもが病気になったとき、家族だけでの対応は難しい。こんなとき、病気の子どもを預かってくれる「病児保育」という制度は大変重要である。

- (1) 病児保育とは何か。

- (2) 他自治体の状況は。
  - (3) 今まで白岡市はどうしてきたのか。
  - (4) 病児保育が進んでこなかったのは何故か。
  - (5) 実現するための施策はあるか。
- 2 教育支援センターを強化するには
- 教育支援センターは、「不登校」の児童生徒のために十分機能していないと思える。機能させるためには何をすべきか。
- (1) 不登校の子の実態は。学校間・地域間の差異はあるか。
  - (2) 教育支援センターの目的にある「学校に戻す」は適切か。
  - (3) 教育支援センターを利用しない子どもをどうするのか。
    - ア 利用しない子どもの実態・理由を把握しているか。
    - イ どうすべきか。
  - (4) ホームエデュケーションをしている子の対策は。
    - ア 実態を把握しているか。
    - イ 子どもにとって、教育支援センターは魅力ある居場所となれるか。
    - ウ 保護者にとって、教育支援センターは相談機関となれるか。
    - エ 教育機会を保障するため、何らかの補助をできないか。

## 第17通告者

10番 渡辺 聡一郎 議員

- 1 コロナによる地域経済への影響について
  - (1) コロナによる市内飲食店等への影響をどのように把握しているか。  
また市内経済への影響をどう考えているか。
  - (2) これまで行った市の支援施策の現状について伺う。
  - (3) 今後の市内経済の活性化について具体策は。
- 2 学校施設の老朽化対策について
  - (1) 学校施設の更新を具体的にどのように進めていくか。
  - (2) 具体的な更新・長寿命化のスケジュールは。また長寿命化の改修内容は。
  - (3) トイレ洋式化、床のドライ化について計画的に進めているのか。
  - (4) 学校施設の多機能化についての考えは。